

様式第4号（第13条関係）

埼玉県エコアップ認証事業所取組実施状況報告書

平成 30 年 7 月 13 日

（あて先）
埼玉県知事

報告者 氏名又は名称 (株)本庄土建
住所 埼玉県本庄市本庄 1-8-8
法人の場合は代表者の氏名 山田 幸一
電話番号 0495-24-5600



埼玉県エコアップ認証制度実施要綱第13条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 事業活動の概要

ふりがな 事業所の名称	かぶしきがいしゃ ほんじょうどけん （ほんしゃ） 株式会社 本庄土建 （本社）			
事業所の所在地	〒367-0051 埼玉県本庄市本庄 1-8-8			
事業の内容	土木・建築工事			
事業の規模	資本金 （万円）	2000 万円	主要製品	土木施設と 建築物
	従業員 人数（人）	19 人	事業所の 敷地面積（㎡）	525.67m ²
	（ ）		事業所の 延床面積（㎡）	186.84m ²
地球温暖化対策 計画の提出状況	提出日：平成 29 年 7 月 21 日			
地球温暖化対策 推進者名	役職 土木課長	氏名 岩田 操		
担当者	所属 土木部	氏名 岩上 健治		
連絡先	電話 0495-24-5600	F A X 0495-21-6977 電 子 メ ー ル iwakami@honjyou.com		



2 環境方針 ※（見直しを行った場合、記載すること）

（改正日：平成 年 月 日）

3 環境負荷の現状

（1）環境保全の取組のチェック結果

項 目	廃棄物	大気・水質	化学物質	節水・水	製品開発
達成率（％）	89%	67%	—	67%	—
前回認証時達成率（％）	88%	67%	—	67%	—
項 目	建築・開発	グリーン購入	環境教育	その他	
達成率（％）	67%	75%	63%	75%	
前回認証時達成率（％）	68%	60%	64%	75%	

（取組に関する情報・説明）

1＜廃棄物＞

- ・「捨てればゴミ、分ければ資源」の啓発を行っている。
- ・社内書類の印刷は、使用済み用紙の裏面使用を徹底し、紙の使用量削減を図っている。
- ・使用済みのコピー用紙は、再生資源化にする。
- ・ペットボトル・空き缶等を、自治体及び学校等の資源回収に協力している。

2＜大気、水質＞

- ・エアコンの適正使用。（冷房時 28℃、暖房時 20℃）
- ・休憩時間等は、不要な照明は消灯している。
- ・エコドライブ 10 の周知を行い、エコ運転教育を実施し意識向上と啓発を行った。
- ・各車両の毎月の走行距離、給油記録をグラフ化しエコ運転の意識向上と啓発を行った。
- ・社有車を、低燃費車、低排出ガス認定車等の低公害車への切り換えに取組む。29 年度はハイブリット車 1 台・低燃費車 1 台替えた。
- ・会社内の蛍光灯を LED 照明器具に取り換えた。

3＜節水、水＞

- ・蛇口に節水コマを設置している。
- ・水道配管からの漏水を年 1 回点検している。

4＜グリーン購入＞

- ・エコマーク商品を優先的に購入している。

5<その他>

- ・県、市のロードサポートに参加し年各4回、地域の清掃活動を行っている。

(2) 環境への負荷のチェック結果

ア) 建物系 CO₂排出量 (「算定報告様式 (建物系)」より転記)

項 目		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	10.0	11.0	11.0	11.0
原単位 (従業員当たり)	t-CO ₂ /m ²	0.0538	0.0591	0.0591	0.0591
原単位の指標数	(床面積)	186	186	186	186

イ) 工場・現場系 CO₂排出量 (「算定報告様式 (工場・現場)」より転記)

項 目		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	52.0	47.0	47.0	44.0
原単位 (従業員当たり)	t-CO ₂ /億円	6.4919	5.5819	6.0256	5.5000
原単位の指標数	(受注額)	8.01	8.42	7.80	8.00

ウ) 自動車燃料 CO₂排出量 (「自動車燃料チェックシート」より転記)

項 目		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	44.3	42.9	42.4	41.6
原単位 (従業員当たり)	t-CO ₂ /千 km	0.2477	0.2509	0.2542	0.2472
原単位の指標数	(走行距離)	178.829	170.96	166.78	168.26

エ) 合 計 (ア+イ+ウ)

項 目		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	106.3	100.9	100.4	96.6
原単位 (従業員当たり)	t-CO ₂ /人	5.9056	5.3105	5.2842	5.0842
原単位の指標数	(人)	19	19	19	19

(3) 二酸化炭素排出量及び原単位の実績

(基準値：平成 24 年度 ～ 平成 26 年度の 3 か年平均)

年度	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	基準値比 増減量 (t-CO ₂)	基準値比 増減率 (%)	CO ₂ 原単位 (従業員当 り)(t-CO ₂ / 人)	基準値比 増減量 (従業員当 り)(t-CO ₂ / 人)	基準値比 増減率 (%)
基準値	102.3			5.5779		
27 年度	100.9	△1.4	△1.4%	5.3105	△0.2674	△4.8%
28 年度	100.4	△1.9	△1.9%	5.2842	△0.2937	△5.3%
29 年度	96.6	△5.7	△5.5%	5.0842	△0.4937	△8.9%
平 均 増減率			△2.9%			△6.3%

(4) 二酸化炭素排出量等の増減に関する情報・説明

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

1<電気使用量>

- ・ H27 が 22293KWh、H29 は 21698Kwh で、H29 は H27 から 2.6%減少出来た。
引き続き、エアコンの適正使用（冷房時 28℃、暖房時 20℃）にし、使用
時間も管理する。
- ・ 会社内の蛍光灯を LED 照明器具に取り換えた。

2<ガス使用量>

- ・ H25～H28 年度を見ると減少傾向が続いているが、H28 と H29 はほぼ同じ
なので今後も使用期間、時間の短縮抑制をする。

3<自動車燃料使用量>

○ガソリン使用量

- ・ H25 がピーク時で、そのあとは年々減少傾向が続いている。
H29 は前年より増加したが、走行距離も増加しちるが、燃費は向上して
いる。
エコドライブ 10 の周知を行い、エコ運転教育を実施し意識向上と啓発を
行った。

○軽油使用量

- ・ 車両は使用量及び走行距離が H27 より H29 は増加してしまったが燃費は
向上した。
重機関係も同様に使用量は増加したが、燃費は向上している。
現場の稼働状況によって使用量が増減するが、燃費は年々向上している
- ・ 車両の走行時、積み降ろし時のアクセル操作等の教育を行う。

(5) その他環境に重大な影響を与える項目の実績及びその情報・説明

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

＜廃棄物排出量実績＞

- ・再資源化率の目標値 H29 は 74%で実施率 73.8%となったが、廃棄物発生量が増えてしまった。増えたのは過去の書類の廃棄によるもので、これからも発生するが、さらに再資源化に努める
- ・今後は、新規発生する書類等は電子化・社内ラン等を活用し、発生率を抑える

(6) 二酸化炭素削減対策等の取組状況

別添「二酸化炭素削減対策等チェックシート」のとおり (追加対策に関するコメント)

4 環境への負荷低減の目標

※ (見直しを行った場合、記載すること)

(1) 二酸化炭素の削減目標

現行の目標を継続する。

年度	目標 排出量 (t-CO2)	基準値 (t-CO2)	増減量 (t-CO2)	増減 率 (%)	目標 原単位 (従業員当り) (t-CO2/人)	基準値 (従業員当り) (t-CO2/人)	増減量 (従業員当り) (t-CO2/人)	増減 率 (%)
30 年度	96.5	99.3	△2.8	△2.8	5.0789	5.2263	△0.1474	△2.8
31 年度	96.0	99.3	△3.3	△3.3	5.0526	5.2263	△0.1737	△3.3
32 年度	95.5	99.3	△3.8	△3.8	5.0263	5.2263	△0.2000	△3.8
平均 増減率				△3.3				△3.3

(2) 二酸化炭素排出量等の削減目標に関する情報・説明

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

平成 27 年度より、電気の CO2 排出係数の変更あり。
 平成 26 年度まで、0.386 t-CO2/千 kwh
 平成 27 年度より、0.495 t-CO2/千 kwh
 現行の目標を継続する。

(3) その他環境に重大な影響を与える項目の目標及び情報・説明

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

現行の目標を継続する。

5 環境負荷低減に向けた具体的な取組結果

(1) 二酸化炭素削減の取組結果

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

<電気使用量>

- ・ エアコンの適正使用（冷房 28 度、暖房 20 度）の徹底をした。
- ・ 昼休み時の消灯及び退社時の消灯の確認を徹底した。
- ・ 照明回路を部分点灯可能なように細分化した。
- ・ スイッチ部に適正使用の表示をした。
- ・ 毎月の使用量を目標値と対比し、グラフ化し周知した。
- ・ 会社内の蛍光灯を LED 照明器具に取り換えた。
- ・ 使用量は微量だが、減少傾向にある。

<ガス使用量>

- ・ 暖房器温度は 20 度に設定し使用した。
- ・ 使用期間、時間の短縮抑制をした。
- ・ 毎月の使用量を目標値と対比し、グラフ化し周知した。

<自動車燃料>

- ・ エコドライブ 10 の周知の徹底し、エコドライブに対する意識向上と啓発を行った。
- ・ エコドライブ 10、アイドリングストップの啓発ポスターの掲示をした。
- ・ アイドリングストップの対策としてキー抜きロープの活用を促進した。
- ・ 給油時、オイル・空気圧の点検を行った。
- ・ 燃焼効率を高めるため、適時、添加材を使用した。
- ・ ダンプアップ時、エンジンをふかさない。
- ・ 過積載をさせない・しないの徹底を図った。
- ・ 毎月の使用量及び燃費を目標値と対比し、グラフ化し周知した。

(2) その他環境に重大な影響を与える項目の取組結果

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

<廃棄物の削減>

- ・ 印刷ミス等で裏面が使用可能な紙は、所定の場所に保管し、社内資料等は裏面コピーを使用した。
- ・ 再生可能な紙類は分別し再資源化した。
- ・ リサイクル商品を率先して購入している。
- ・ PTA、自治会等の資源回収に協力している。

- ・各自のゴミは自宅に持ち帰るように指導した。
- ・県、市のロードサポートに参加し年各4回、地域の清掃活動を行った。

6 取組の実施体制

- (1) 各取組の分担や責任者の配置状況 ※（見直しを行った場合、記載すること）
（※組織図を添付）

- (2) 取組の従業員への周知状況

- ・環境方針、目標、取組については月2回行われる合同会議にて周知している。

7 取組の運用状況

- (1) 目標達成状況と取組実施状況の確認・点検概況

（直近の内部環境監査日：平成 30 年 4 月 1 日）

- ・ISO14001 環境マネジメントシステムの運用により、運営管理を実施している。
- ・半期毎に目標の取組、達成状況の確認をしている。
- ・問題点の原因分析を行い、対応策を検討して改善に取り組んでいる。
- ・必要に応じて予防処置又は、是正処置を施している。
- ・内部監査は合同会議（全部署出席、月2回）で、EMSについて、
 - ①定められたルールに従って活動しているか。
 - ②日頃困っている事。活動内容の不明確。
 - ③やりづらい点。改善したい点を出し合い、監査目的と日程を決定する。後日、全部署・共通内容で実施する。{H29 年度 1 回実施}

- (2) 確認・点検結果に基づく対応概況

- ・内部監査で抽出した問題に対して、担当部署は是正処置・予防処置及び改善活動を実施し合同会議にて報告を行う。

8 評価・見直し

- (1) 代表者等による全体の取組の評価・見直し概況

（直近の代表者による評価・見直し日：平成 30 年 5 月 9 日）

- ・毎年4月に
 - ① 監査及び是正・予防処置結果
 - ② 法規制等順守
 - ③ 外部コミュニケーション

- ④ 当社環境パフォーマンス
- ⑤ EMS 活動状況
- ⑥ 法的及びその他要求事項の進展・周囲の状況
- ⑦ 改善提案

以上の点から見直しの必要性が含まれる時にマネジメントレビューを実施し、社長は評価及び処置の決定を行う。

- ・また、マネジメントレビューは4月以外に合同会議（全部署出席 月2回）にて提議されたEMS活動の改善及び変更の必要性について臨時に実施している。

（2）見直し結果の従業員への伝達状況

- ・マネジメントレビューの決定及び処置については担当部署が是正処置・予防処置及び改善活動を実施し、合同会議にて報告を行う。

9 公表

取組実施状況報告（エコアアップ認証）の公表状況

エコアアップ認証事業所取組実施状況報告書は、株式会社 本庄土建の本社にて、閲覧が可能です。

公表状況

- ・ 公表場所 株式会社 本庄土建 2F 総務課
〒367-0051
本庄市本庄 1-8-8
- ・ 公表時間 月～金曜日（祝祭日を除く）
AM9:00～PM5:00
- ・ 電話番号 0495-24-5600（代表）
- ・ インターネット 当社 HP でも閲覧できます。
<http://www.honjyou.com>

関係書類について

項 目	添 付 書 類
1 エコアップ認証EMS	①環境保全に関する取組チェックシート ②燃料等使用量の単位換算（建物系）、算定報告様式（建物系） ③燃料等使用量の単位換算（工場・現場）、算定報告様式（工場・現場） ④自動車燃料に関するCO ₂ 排出量（自動車燃料チェックシート） ⑤廃棄物等排出量実績（自己排出分） ⑥エコアップ認証にかかる目標達成のための具体的な取組（計画）と実施状況の確認・評価の記録（写）（ISOなどのEMP） ⑦会社全体の組織図（工場・支社・支店・営業所等が確認できるもの） ⑧事業所一覧（複数の事業所がある場合） ⑨内部環境監査の記録（写） ⑩マネジメントレビューの記録（写） ⑪自動車の給油量・燃費管理表（任意） ⑫法令及びその他要求事項遵守評価表 ⑬その他必要と認める書類
2 二酸化炭素削減対策等	①二酸化炭素削減対策等チェックシート ②その他必要と認める書類
3 欠格要件	①必要と認める書類